

# 集中レッスンで英語習得

## 西九大 海外研修控え3週間

### 会話力アップへ度胸付け

英会話の基礎や身ぶり手ぶりのボディランゲージなど、表現力全般を徹底的にたたき込むプログラム。海外研修を目前に控えた学生は特に目の色を変えて取り組んだ。

佐賀市の西九州大学短期大学部(福元裕二学長)でこの夏、英語を短期集中で習得する「弾丸レッスン」が学生に好評を博した。夏休み中の3週間ほぼ休みなく、



レッスンは8月17日から9月5日まで、日曜日を除いて毎日開講。学内外の英語教師のほか、国際交流機関やグローバル人材育成企業が講師を務め、留学生や学校勤務のALT(外国語指導助手)がアシスタントとして協力した。

ユニークなのは導入部。日本語劇を鑑賞し、劇団員の芝居の所作にコミュニケーションを学び、漫才を披露して度胸付け。パターンの会話を教室内を歩き来しながら繰り返し、徐々に会話に慣らした。

「卒業試験」は、「行ってみたい国」を3分間で紹介し、5分間質問を受けるプレゼンテーション。「(その国に)一緒に行きませんか」と切り出した男子学生に対し、女子学生が「OK。でも旅費はあなた持ちね」とジョークで切り返す場面も見られるなど、3週間で会話の引き出しは大幅に増えた様子だった。

今月中旬から2週間のオーストラリア研修に出发する、子ども学部2年の大森紗希さん(19)は「留学生を相手に英語で話すことで刺激になった」と笑顔。健康福祉学部2年の古川祐衣さん(20)は「最初は話せるか

教室内を歩き来しながら会話を繰り返し英語に慣れていく学生たち。佐賀市神園の西九州大学短期大学部

不安だったが、話をうとず信がついたので留学に行ける気持ちが大変なんだと試してみたい」と話して実感した。ちょっとだけ自己肯定感があった。(村上大祐)